



今年初めてのララグランマルシェ バレンタイン一色に…

バレンタイン♥マルシェ&ワークショップ

2月12日(日)、10時～15時まで「ララグランにて「バレンタインマルシェ&ワークショップ」が開催されました。年が変わったから初めての開催とあって、親子連れを中心にたくさんのお店や移動販売車がぎりりと並び、約1600人が来場。2月中旬にも関わらず、朝から暖かな日となり、芝生を走り回る子供たちや購入したスイーツや食事をベンチで食べる姿が多く見受けられました。

この日は、バレンタインデーが近いとあって、1日限定の「フワフワバレンタインフォトスポット」が登場。

噴水に作られた、田原市産花きを使った特別な撮影スポットです。家族連れやお子さんと共に写真を撮影し、思い出を作っていました。

また、旬のいちじくを使ったいちじく飴やパフェなど、この時期のスイーツを味わうことができました。



ワークショップでは、マカロンに見立てたメモスタンプやマグネットに飾りをつけてアレンジするショットなど、各ブースで子どもたちがじっくりと作り込んでいました。

参加した親子連れのお母さんは「お田原では、クレープやたこ焼き。子どもがおいしそうに食べててくれてうれしい」と声が聞かれました。また「特設スポットで写真も撮影できて良かつた」と、グルメと共にそれぞれに休日を楽しむ1日となりました。



1月28日(土)

JR東海主催「さわやかウォーキング」
菜の花イベント 駅ピアノ演奏

主催:まちなか賑わいづくり実行委員会

朝から冷たい風が吹き、冬らしい青空に恵まれた1月28日(土)、JR東海主催「さわやかウォーキング 早春の渥美半島菜の花畠をめざして」が田原市内で開催されました。三河田原駅をスタートし、コースマップを片手に田原城跡や加治の菜の花畠、道の駅田原めっくんはうすなどをまわり、ゴールの三河田原駅まで約9.3kmを楽しむイベント。

駅に到着した参加者にピアノの演奏でおもてなしをするため、応募のあった11名が午前10時から順に駅ピアノ演奏をしました。駅前広場に置かれた1台のピアノは、普段は駅内に設置されているもの。この日だけのステージ用に駅前広場に準備しました。

駅ピアノの設置は、東三河では三河田原駅と豊橋駅の2カ所だけ。駅に大勢の参加者が次々と到着し、出発前の準備と共に演奏の音色に包まれました。

ピアノ演奏参加者からは「開放的な外で弾く機会はめったにないので、緊張したけど気持ち良く弾けました」という声も聞かれました。演奏後は大きな拍手も起り、日頃とは違う特別な時間となりました。

足を止めて聞くウォーキング参加者や、近所の方もベンチに座り、音色に耳を傾けていました。

センファマーケット開催!

4月2日(日) 午前10時~午後3時

セントファーレ1階センターコート及び2階

美味しいものにアクセサリー販売、楽器のワークショップや絵の展示等セントファーレにたくさんのお店が並びます。

Cenfa Market
4.2 SUN 10:00-15:00
会場:セントファーレ ※雨天決行

おひなさまイベント

まちなか賑わいづくり実行委員会 × たはランティア

2月18日(土)~3月9日(木) 中心市街地

まちなか賑わいづくり実行委員会主催「おひなさまイベント」が開催されました。竹を利用したお雛様を作成し、52店舗の協力店に飾り、まちなかを歩いて楽しんでもらおうと、準備は12月からスタートしました。お雛様の制作は、田原中学校のボランティアグループ「たはランティア」に依頼。まちなか賑わいづくり実行委員会は「オーソドックスな男女雛でも良いが、変わり雛を考えてほしい。各店舗に合ったものや雰囲気を取り入れてほしい」と要望。たはランティアはアイデアを盛り込んで制作しました。

1/26

放課後に集まり、それぞれ分担して進めます。それぞれ竹の形や大きさも違うため、1体の作成に時間がかかります。その中、店舗の業種に合わせ、すべて違う変わり雛を考えます。

話し合って進め方を相談
おひなさまの顔を作成
1体1体飾り付けします
表情も丁寧に描きます

2/18

店舗名の札を台に設置して完成! 店舗へお届けに行きました。

52店舗の雛飾りが完成
がんばりました!
お届けに行きました
「お店に飾りますね」

設置店インタビュー

学生服のオグリ 林 敏子さん

ちょうど新学期を迎える時期で来店の方も多いため、小学校に上がる年長さんも「かわいい!」と眺めてくれています。お雛様からも、がんばって作ってくれた姿が浮かびます。

かねき米の郷 鈴木 紀江さん

素敵なお雛様を届けてくれました。お客様も「かわいいね」とおっしゃってくれています。ボランティアを続けることは大変なことだと思いますが、これからもがんばって欲しいです。

街なかの元気印、発見！

MACHICCO File.55

昭和30年代創業 地元で愛され続ける、こだわりの米と酒を販売

米と酒の立岩
店主

タテイワ
立岩

マサコ
昌子さん



■創業

昭和30年代、先代が三河田原駅前で米屋を始めました。その頃は配給制で、電話で注文を受け、米を配達する多かった時代です。平成元年、二代目立岩昌子の時、お客様が車で買物に来られるようになると現在地の晩田に移転しました。その頃はお米だけでなく、灯油、酒類も販売していましたが、現在はお米とお酒を販売して

います。
四年前、二代目が亡くなり、現在は店主として朝8時から夜7時まで、店頭に立っています。お店にいる元気をもりえる看板おばあちゃんです。長男のお嫁さんに一緒に手伝つてもらつて、元気にいひつて仕事をしてもらのが幸せと思っています。お米もお酒も色々なところでお買い貰える時代。お酒は同じ銘柄なり中身も一緒ですが、お米は同じ銘柄でも産地や、農家によって中身が違います。当店では、そこにはだわってお米を仕入れて販売しています。また、農家さんやお客様が持つて来られた玄米を立つておもてなしで精米して貰うのが、現在はお米とお酒を販売して

■米屋のこだわり

います。

■店頭にお雛様

毎年この時期欠かさず飾っているのが、お雛様。娘が生まれた時から50年、欠かすことなく大切に飾ってきたものですね。せっかくならと20年前からはお店に飾ることになりました。華やかで、皆さんに見てもらえたのがとても嬉しいです。少し小さぶりにはなつても、お雛様、お内裏様、三人官女と五人雛子は必ず飾つてあります。その他のお道具は毎年少しづつ変えて楽しんでいます。お客様からも「お雛様に癒しをもらいました」「また今年も余stedなね」と仰つていただいている。

ふつにはなつても、お雛様、お内裏様、三人官女と五人雛子は必ず飾つてあります。その他のお道具は毎年少しづつ変えて楽しんでいます。お客様からも「お雛様に癒しをもらいました」「また今年も余stedなね」と仰つていただいている。



たはランティア制作による
お雛様



長年樂しまでらるのせむ壁です。現在所属して田原演劇団唱団はつロナ禍の影響も有の因縁が減少し寂しくなつてしまつた。毎週金曜日の午後7時から、田原文化会館で活動しているので、歌の好きな方はぜひ一緒に歌じませんか。



住 田原市田原町晩田86番地
電 0531-22-0278
FAX 0531-22-1786
営 8:00~19:00
休 日曜日
P 店前 有
HP <http://komenotateiwa.com/>



かのやの田原へだれど。

